

別府市新図書館等複合施設の管理運営に関する サウンディング型市場調査の対話結果の公表

1. サウンディング型市場調査実施の経緯

別府市新図書館等複合施設は「ひとりひとりの暮らしと創造のよりどころへ」をメインコンセプトに据え、施設の中核をなす図書館サービスをベースに、住民相互の交流の場となり、地域に暮らす一人ひとりの暮らしを豊かにする連携サービスが融合する新しい施設を目指しています。行政直営の図書館を中核に、民間事業者が参画する連携機能が有機的につながり、空間と業務が一体的に融合する新たな公共施設の管理運営について、民間事業者のノウハウや自由な発想に基づく意見・提案を求めるため実施しました。

なお、個別対話でいただいた具体的な提案内容については、知的財産権保護の観点から公表を差し控えます。

2. 調査対象施設

別府市新図書館等複合施設（別府市大字別府字野口原3013番1外）

3. サウンディング型市場調査のスケジュール

サウンディング型市場調査実施の公表	令和5年1月11日（水）
対話の実施	令和5年2月13日（月）～17日（金）

4. サウンディング型市場調査の参加者

（1）対話参加者

実施期間 令和5年2月13日（月）～17日（金）

参加者 8事業者

5. 対話結果の概要

民間事業者から提案された主な概要は次のとおりです。

施設の在り方について

- ・図書館を中核とした複合施設であることから、人と人をつなぎ新たな価値を生み出す可能性がある。
- ・これまで利用してこなかった層を利用につなげるための工夫が必要である。
- ・官民連携で施設の理念や事業目的を共有して新しい施設を運営していくためには、運営する人材の育成と、コミュニティを形成するうえでの人間関係の蓄積に時間をかけることが必要である。

指定管理者制度について

- ・役割分担、リスク分担及び費用分担は、明確にする必要がある。
- ・指定管理期間は、5年程度は必要である。

施設で実施する事業について

- ・図書館と関連した事業の提案
- ・地元と連携した事業の提案
- ・時間帯に応じた対象者別事業の提案

6. 対話結果を踏まえた今後の方針

今回のサウンディング型市場調査では、施設の在り方や指定管理者制度について、また、施設で実施する事業に関する提案をいただきました。

今後、市としましては対話の結果を参考に、本市内部での協議・検討を行い、別府市新図書館等複合施設の管理運営の可能性について、引き続き検討してまいります。